

平成25年度 社会科 市教研 学習指導案

授業者 日高 貞雄
展開学級 1年 3組
展開場所 1年 3組教室

1 単元名 「歴史のとらえ方」

2 単元について

平成10年度版学習指導要領では、それまでの9時代区分に代えて、「古代まで、中世、近世、近現代」の4区分をとって、より長い期間の歴史展開をつかむことに目を向けさせようとしていたが、4つの各時代の何を学ばせるのが、必ずしも明示されておらず、4つの時代区分が空洞化して、それまで同様中項目規模の内容が、学習の基本枠に成り代わっていたりはしないだろうかということについて不安に感じていた。しかし、現行の学習指導要領では、次のように記された。

内容 (1) 歴史のとらえ方 ウ

学習した内容を活用してその時代を大観し表現する活動を通して、各時代の特色をとらえさせる。

各時代の学習の最後を実施し、学習した内容の比較をしたり、関連づけたり総合して、「この時代はこんな時代だった」ということを自分の言葉で表現していく活動していくことになったのである。

さらに、一つの大項目であった「近現代」を「近代」と「現代」に分割し、「現代」を第二次世界大戦以降という位置づけにすることで、近現代の学習を一層重視し、学習に十分な時間を配当している。

そして、歴史の動きや変化を大きくつかませるための施策として、平成10年度学習指導要領、歴史的分野で、中学校入学後すぐに導入として実施されていた、「関心ある主題を設定し、まとめる作業的な活動」が「(1) 歴史のとらえ方」の「ア 我が国の歴史上の人物や出来事などについて調べたり考えたりする活動」に、また「内容の取扱い」では、小学校における学習を踏まえ、「取り上げる主題は、幾つかの時代にまたがるもの」という表現が「扱う内容や活動の仕方を工夫」して、とそれぞれ改められた。生徒一人一人の興味や関心に応じて「関心ある主題」を設定するのではなく、小学校での学習内容を踏まえることに一層留意し、様々な活動の仕方を工夫できるようになっている。これは、中学校歴史学習の導入が、生徒が関心ある主題を設定し、それをまとめる作業的な活動そのものに重点が置かれ、その後の歴史学習に結びつかないことがあったことを踏まえてのことである。

実際に「(1) 歴史のとらえ方」の「ア 我が国の歴史上の人物や出来事などについて調べたり考えたりする活動」の授業を構成するとき、「関心ある主題を設定し、まとめる作業的な活動」での課題を踏まえて授業を実施しなくてはならないと考える。

その主な課題は、「学習課題設定の方法」「調べ学習で利用する資料の種類と入手の方法」の2点である。この単元のねらいに、ふさわしい有意義な学習課題が設定されるのか、さらにその課題の解決にふさわしい資料が、容易に豊富に手にはいるのかどうかである。考えを深めてみると次の①から④となる。

① 中学校の導入単元では、有意義な学習課題や活動内容を選定するための着眼の仕方、着想の仕方、教科書、その他の資料の選び方や利用の仕方を学んで身につけ付けさせる必要があるであろう。この導入単元も、「学び方を学ぶ」ことが重要な眼目とされていると考えるべきであろう。

② 生徒にとって有意義な歴史の動きがつかめてくるためには、学習課題や活動内容は意外に限られたものではないのか。そのようなテーマや活動内容に出会って、自らの学習活動を通じてその大きな動きをつかめたとき、生徒は初めて達成感を深め歴史学習に対する関心や意欲を高めるものと考えたい。

③ まずは教科書と資料集の利用を主力とせざるをえない。そして、厚く見慣れていない中学校の教科書や資料集よりも、生徒の手に馴染み、目に残っている小学校の教科書や資料集を利用することも考えられる。「小学校における学習を踏まえ」ることにもなるであろう。

④ 中学校や図書館にある図書で、この単元の活動にふさわしいものは、きわめて限られてくる。それは、この単元が必要とする以上に詳細な情報を含む資料が多いからである。

以上を考え合わせていくと、生徒それぞれが関心のある歴史上の人物や出来事などを、生徒自身が工夫をしながら調べたりまとめたりして、時代区分やその移り変わりに気付くというやり方を、そのまま授業場面で行うことには無理があるのではないか。そこで、この単元の授業は学習課題や活動内容と利用資料を指導者側の意図と計画に基づいて一括的に設定する方法をとり、それにより課題解決的な学習の基本的技能を養おうとすることにした。

時代区分やその移り変わりなどの歴史の大きな流れがより一層つかみやすいテーマには、どのようなものが考えられるのだろうか。生徒が調べたりまとめたりしやすいテーマの条件をいくつか考えた。

① 扱う内容が「○○像」のような連続的・漸次的な変化を示すものではなく、基本的には個別の事項を数多く

集積させることで、全体の形が浮かび上がってくるもの。

② その事項の集積を通覧することで、時代の大きな移り変わりが、生徒自身の目に見てとれるもの。

③ 詳細な資料などを、生徒が探し出したり指導者が用意しなくても、教科書などの手近な資料から探し出せるもの。

これらの条件をある程度満たすテーマとして、「外国との交流の移り変わり」に着目した。対外関係は、古代から近現代までの長きにわたる不断の営みであり、それぞれの事項が個別の年次に明確に位置づけられるものである。教科書の本文や年表、副教材の資料集からでも、容易に数十項目を見つけることができる。例えば小学校の教科書の巻末年表から拾うことのできる30余りの項目列からでも、外国との交流の移り変わりの全体像が、かなり明確に描き出せる。

- ・中世までの東アジア主体の外交→近世初頭、近代以降のヨーロッパ重視の外交
- ・元寇、朝鮮出兵などを除いて、概ね平和な交流が続く前近代→19世紀末～20世紀前半の対立・戦乱続きの50年間→再び平和を目指す戦後

生徒が得意な個々の事項の拾い出し（一覧化）という活動とその連続的な考察を通して、外交を通して見た日本の歩みの通史的な移り変わりが、比較的容易にかつ確実につかめてくるのである。

3 生徒の実態から (千城台西中 1年3組 男子16名 女子17名 計33名)

事前調査 2013年6月6日(木)実施

- (1) 歴史の学習は好きですか。
とても好き 12名 好き 8名 どちらとも言えない 7名 好きではない 6名
- (2) 友人や家族と歴史に関する話題を話すことがありますか。
よくある 3名 どちらとも言えない 6名 あまりない 13名 ない 11名
- (3) 歴史に関する本やテレビ番組をみることはありますか。
よくある 6名 どちらとも言えない 5名 あまりない 15名 ない 7名
- (4) 小学校で学習した「人物」を思い出してみてください。

教科書8ページの表の中の人物(全42名)で聞いたことのない(知らない)人物は誰ですか。

中大兄皇子	1人	中臣鎌足	4人	行基	2人	鑑真	1人
藤原道長	1人	清少納言	2人	源頼朝	1人	雪舟	1人
近松門左衛門	5人	歌川(安藤)広重	5人	本居宣長	3人	杉田玄白	3人
勝海舟	1人	大久保利通	4人	木戸孝允	3人	板垣退助	1人
東郷平八郎	6人	小村寿太郎	2人				

*その他24名は0人。

- (5) 小学校で学習した「文化財」を思い出してみてください。

教科書8ページ表の中の文化財(全15)で聞いたことのない(知らない)文化財はどれですか。

法隆寺	1人	正倉院	1人	平等院鳳凰堂	3人	巖島神社	5人
日光東照宮	3人	八幡製鉄所	6人	水墨画	4人	姫路城	4人

*その他7は0人。

歴史学習について、「とても好き」と「好き」を合わせると、クラスの約3分の2の生徒が、よい印象をもって中学校へ入学しているようである。また、「好きではない」と答えた6名中、5名が女子である。「2 歴史に関する話題」や「3 歴史に関する本やテレビ番組」では、聞き取り調査をすると、多くは戦国時代の武将や新撰組などに関するものが多く、それらに関連する漫画を愛読している生徒もいた。教科書8ページに提示されている小学校で学習した表中の『人物(全42名)』と『文化財(全15)』について、「聞いたことのない(知らない)」と最も多く答えた生徒でも16であり、具体的な学習内容を覚えていないものがあっても、教科書8ページに提示されている表中の人物と文化財の名前は、ほとんど聞き覚えがあるという生徒は多い。この小学校で習得した知識を活用し、「年表作成」という作業的な活動で活動意欲を引き出したい。材料として扱う各事項が「何時代：何世紀：出来事」という個別形態をしており、それを収集し整理することで全体像が浮かび上がってくるという積み上げ型の作業スタイルが、中学1年生にとって取り組みやすいのではないだろうか。

個々の歴史的事象の集積を通覧することで、生徒が「東アジア主体の交流からヨーロッパ重視の交流へ」という歴史の主要な変化や「19世紀末からの半世紀間は対立・戦争の時代」というその時代の大きな特色をつかみ、この授業において、自分自身の手で歴史が理解できるという、ほのかな自信を持つことができるようにさせたい。

各時代の導入部分とまとめにおいては、歴史を長期的視野で整理し大きくとらえるという、小学校の学習課程を終えた子どもにとって、新しい学習方法に取り組むことが求められている。そこでは、利用する資料や表現方法、まとめ方などを成果の見えやすいモデルを教師が示し、学習を進める方法を学ばせることが重要ではないだろうか。その学び方がつかめ、しかも、生徒がその活動自体に楽しさを見つけ出したとしたら、各時代の特色を大観し表現する学習活動が進められ、一層の成果を上げるであろう。

4 指導目標

- (1) 歴史上の人物や出来事について調べたり考えたりする活動を通して、時代区分や時代の移り変わりに気付かせる。
- (2) 中学校の歴史学習の導入として、歴史に対する興味・関心や歴史を学ぶ意欲を高めさせる。

5 単元の指導計画 (5時間扱い)

累計 時間	題材名 (小単元名)	主な学習内容	評 価 計 画			
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
1	時代や年代の表し方	・いろいろな時代や年代の表し方を知る。				年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解し、その知識を身に付けている。
2	外国との交流 いつ、どこの国と? 〔本時〕	・テーマを設定する。 ・調べ方や整理の仕方を理解する	外来文化の事例を通じ日本が多く交流を持った国が、時代ごとに異なることを予感し、その様子を調べ大きくとらえようとする意欲を高まっている。			外国との政治的・文化的な交流の調べ方や整理の仕方について基本的な理解をし、その知識を身に付けている。
3 4	外国との交流年表をつくろう	・テーマについて資料を使い調べ、整理する。 ・発表の準備を始める。	調査活動に前向きに取り組み、歴史的事象の調査の楽しさに気づき始めている。	自らの調査活動を通じて、時代によって日本の交流相手国が変化していることを考察し、判断し始めている。	調査したことを年表にわかりやすくまとめたりしている。	
5	外国との交流 ーまとめー	・調べたことを、発表する。	班内での発表や話し合いの活動に意欲的に取り組んでいる。	時代とともに歴史的な事象が移り変わることを判断し、歴史の大きな流れをつかむことが大切なことを表現している。		

6 本時について

(1) 本時の目標

- ① 外来文化の事例を通じて、日本が交流を持った国が、時代ごとに異なることを予感させ、その様子を調べ大きくとらえさせようとする意欲を高めさせる。(関心・意欲・態度)
- ② 外国との政治的・文化的な交流の調べ方や整理の仕方について、年表を活用するという基本的な理解をさせる。(知識・理解)

(2) 本時の展開

過程	時配	学習内容と活動	教師の支援・指導上の留意点	資料・評価
導入	5分	○提示された資料【「仏像」と「ザビエルと十字架」】を見る。 ○両者の共通点はどんな所か? ○どちらも昔外国から伝来した宗教であることに気づく。	・仏像の名前などには触れない。	資料【「仏像」と「ザビエルと十字架」】(東京書籍掛図)
		○それぞれ、いつどこの国から伝えられたものか。 ○教科書・資料集等で、それぞれの教えの伝来年次とその国を調べる。	・538年百済、1549年スペインという事実を確認する。 ・世界地図によりユーラシア大陸の東端と西端である点に注目させる。	掛地図【世界地図】(帝国書院) 評価①

展 開	4 0 分	<p>仮説：時代とともに日本の交流相手国は西に移っていった。</p> <p>○教師の仮説に対して、対外関係の変化は必ずしも単線状ではないことを予想する。</p>	<p>・近い国から遠い国へという仮説の真偽を問いかける。</p>	<p>(発言・授業後のワークシート)</p>
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>日本はいつ頃どんな国と交流してきたのだろう</p> </div> <p>○教科書や資料集等を参考にして各時代の外交記事を収集しようとする。</p> <p>○年表という形式が基本であることを理解する。</p> <p>○日本の交流相手国を時代を通じて整理する。</p> <p>○教科書や資料集等を調べ、年表づくりを開始させる。</p>	<p>・長い歴史を大きな視点でとらえることの大切さを示す。</p> <p>・『外国との交流年表』を、生徒の活動状況に応じて配布する。</p> <p>・年表中の交流の分類の例を示す。</p> <p>・時代の表し方や西暦の表記も、状況に応じて適時に指導する。</p>	<p>評価② (授業後のワークシート・学習活動を観察)</p>
ま と め	5 分	<p>○調べ始めた古い時代には、朝鮮や中国など東アジアの国々との交流が多いことを確認する。</p>	<p>・次の時代の予測とともに作業を継続する意欲を持たせる。</p>	

(3) 評価

- ①外来文化の事例を通じて、日本が多く交流を持った国が、時代ごとに異なることを予感し、その様子を調べ大きくとらえようとする意欲を高まっているか。(関心・意欲・態度)
- ②外国との政治的・文化的な交流の調べ方や整理の仕方について、年表を活用するという基本的な理解をして、その知識を身に付けているか。(知識・理解)